

令和4年度 昭和町立常永小学校 学校関係者評価

1 日 時：令和5年3月上旬

2 参加者：保坂正広、佐野勝彦、名執明美、相原伸年、本杉宇太郎、深澤学、塚本美佐子、萩原克彦、市川広一郎、谷内清、小林治夫CSD、梶本校長、根津教頭、佐野主幹

3 評価の方法

例年、3月上旬に開催される第3回学校運営協議会において、学校が今年度の自己評価と参考として保護者・こどもアンケートの集計結果を報告し、学校運営協議会委員に報告し、質疑応答を行う中で来年度に向けてのご意見とご提案をいただきました。

4 委員から出された意見（要望等）

<学校経営全般について>

- ・ほとんどの項目でC,D評価が少ないということは、学校運営が常に良い状態であると思います。
- ・働き方改革にかかわって、定時退勤の日を設定しているようだが、実際の成果はどのくらいか。

<学習指導について>

- ・学習指導においては、ほとんどの保護者が肯定的な評価をしているので、成果があがっていると思う。しかし、数が少ないとはいえ、学習指導の成果が十分ではないという方もおり、先生方の自己評価にもあるとおり、継続的に指導の充実を図って欲しい。

<生徒指導について>

- ・一学期の保護者アンケートにて「あいさつの励行」が課題として出てきたが、三学期のアンケート結果を見ると、保護者の意識も児童自身の自覚も改善傾向にあることがわかる。夏休み中に行った「熟議」での協議を二学期以降の教育活動に活かしていただいたと思う。先生方には、これからも、元気で、健やかで、優しい心を持った、子供達の健全育成をお願いしたい。
- ・児童のアンケート結果を見ると、「自己肯定感の低下」が、本校でも課題であることがわかる。そのことについて具体的に教育活動としての取組を強化していきたい。

<学校・保護者・地域との連携について>

- ・このコミュニティ・スクールを通して、地域の人たちとの連携をさらにはかっていきたい。
- ・学校が抱えている内容が多すぎるのではないか。例えば「児童が地域の道路で危ない遊びをしている」というようなことは、学校だけが責任を抱えずに「地域との協働」が必要だろう。保護者にもしっかりと情報共有を行い、協働意識を高めていくべきである。

<その他>

- ・職員の自己評価で「改善策」とあるが、「策」で終わらずに「具体的な取組」を示してほしい。
- ・今回の集計結果と協議の内容を次年度の学校経営方針に反映させてほしい。
- ・これからも協力・協働して常永小の共育、教育、郷育を盛り上げていきましょう。